

当館の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策について—その1 2

新型コロナで4月25日から3回目の緊急事態宣言が3たび政府から出され、効果が不十分のために、さらに6月20日まで延長されました。

今回は本年4月25日から5月11日まで17日間の短期決戦のつもりが不十分のために5月31日まで延長され、さらに2回目の延長が必要になって6月20日までで、現在も進行形です。

緊急事態宣言の対象区域は東京・大阪・北海道・沖縄・愛知・福岡・京都・兵庫・岡山・広島の10都道府県ですが、その他に蔓延防止等措置の区域も発令されていて、首都圏や群馬も発令されていて、今なお発令中です。

COVID-19感染者には無症状の人もいて、その割合は2割とも5割近いとも言われているので、私たちの身の回りのどこにいてももうおかしくない状況になっています。

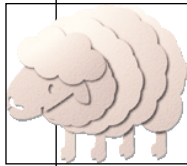
感染から自分たちスタッフと高齢利用者をどう守っていくか、もう運を天に任せるしかない面もありますが、その中でも出来ることを行っていく、というのが私たちに出来る今の状況です。

ただ、感染者の全員が周りに拡げるということではなく、拡げるのはその一部の2割程度とされています。しかもウイルス量の多い人や症状がある人がその確率が高いということなので、皆が互いにマスクを付けていれば、互いに移す危険はかなり下がります。心配し過ぎないで、互いに気を付けていれば大丈夫とも言えます。今まで既に判っている3密回避・マスク・手指消毒・会食自粛などのポイントを忘れないようにしましょう。

兎に角自分や周りの人の体調に異変を感じたら早めに申し出て休むなども大事なことです。報告・連絡・相談、ハウレンソウが大事です。

今週で入所者と職員のワクチン対象者は、ほぼ全員、160人位の人が、2回目も終わる予定です。日本全体でも7月中には凡そは高齢者も予定通り済むでしょう。そして秋には今より更に安心な社会状況が日本にも実現しているはずです。

それまで、自粛疲れ・防止疲れで気が緩みがちかも知れませんが、気を緩めず頑張りましょう。万が一、持ち込まれてしまったらスタッフ全員一蓮托生なので、この施設も次元が大きく変わってしまいます。その時は個人を責めてはいけません。誰を責めるでもなくスタッフ一同は、世間に対しても職場内でも、皆んなでじっと耐えるしかありません。そう思って皆でもうひと頑張りです。

<p>老人保健施設一羊館の理念</p> <p>利用者の方々すべてに尊厳・安心・満足を！</p> <p>一羊館の行動指針</p> <p>私たちは、保健・医療・福祉の架け橋のプロに徹します。 私たちは、利用者のQOL・職員のQOL・健全経営の3立を目指します。 私たちは、質向上のために日々の小さな工夫を忘れません。</p>	
<p>話合いの3原則：</p> <ul style="list-style-type: none">①相手の意見は決して否定しないでしっかり聞きます。②自分の意見はしっかり言う。ポジティブ表現で言います。③正解は一つではないことを自覚して自制します。	